

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

こんにちは、らくだです。

カクヨム×スニーカー文庫による「《俺のラノベ》コンテスト」の第2回が開催されるようです。

詳細は公式サイトをご覧ください。

【《俺のラノベ》コンテスト 2】

https://kakuyomu.jp/contests/sneaker_editors_002

- ・開催期間 2018年4月2日（月）～2018年5月31日（木）
- ・規定字数 10万字以上の長編作品
- ・選考方法 担当編集が独断で選考
- ・募集部門 以下の2つ

「新人賞を最終選考まで勝ち抜いた作品」

- ・ジャンル不問、長編完結作品
- ・最終選考まで勝ち抜いた作品だが未受賞であること
- ・プロデビューをしても現在担当編集者がいない場合は応募OK

「クセのあるヒロインが出る話」

- ・ジャンル不問、長編作品（未完でも可）
- ・作中で異彩を放っているが不意に見せる『可愛さ』がある
- ・『クセのあるヒロイン』はメインヒロインとする

「最終まで勝ち抜いた作品」は明確な条件があるので、応募できる人が限定されますが、「クセのあるヒロイン」は誰でも参加できそうですね。

というわけで。

ご興味のある皆様は応募要項をチェックしてみてください。

こんにちは、らくだです。

来月締切の「第4回角川文庫キャラクター小説大賞」ですが、今回からカクヨム経由で作品を応募できるようになりました。

それを記念して編集長のインタビューが掲載中です。

【編集長インタビュー】

https://kakuyomu.jp/info/entry/kadobun_cnovels_interview

特に参考になったのは「ラノベとの違い」という項目でしょうか。
簡単にまとめると下の様な感じです。

<ラノベとキャラクター文芸の違い>

- ・キャラクター文芸は本文中の挿し絵は入らない
- ・読者は女性の方が多い傾向で特に30～50代の女性が多い
- ・一般文芸の読者層が多くラノベの読者層とはほとんど重なっていない

これ、ちょっとビックリですよ。

自分自身はもともとライトノベルに興味があって、その延長でキャラ文芸も読み始めた人間なので、一般文芸の読者層がメインというのは意外でした。

それからインタビューも参考になりますが、過去の受賞作の試し読みも可能なので、投稿予定の方はチェックするといいかも。

【受賞作試し読み】

https://kakuyomu.jp/info/entry/charanovel_award5_special

以上、角川文庫キャラクター小説大賞に関する話題でした。

こんにちは、らくだです。

えんため大賞の新設部門「Gz ブレインゲーム小説コンテスト部門」の最終発表がありました。

【発表ページ】

<http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/awards/20gn.html>

- ・ 応募総数 251 本
- ・ 1次通過 27 本（約 11 %）
- ・ 最終候補 8 本（約 3 %）
- ・ 受賞作品 6 本（約 2 %）

それにしても、今はスマホが普及しているので、いつでも気軽にゲームができる時代になりましたよね。

たとえば自分が小学生の頃は、

- ・ ゲームといえばファミコンしかない
- ・ リビングのブラウン管テレビを長時間占領
- ・ 「もうやめなさい」と母親に怒られてしぶしぶ同意する
- ・ ふっかつのじゅもんを書くのに時間がかかって更に怒られる

っていう感じでしたけど、スマホゲームならいつでもどこでも好きなだけ遊べるから、便利な時代になりました。

話が少しそれましたが、今回のゲーム部門の受賞作品は、大賞と金賞の計 3 本が書籍化される模様。

それと詳しい総評は後日アップされるようなので、サイトが更新されたらまた紹介したいと思います。

こんにちは、らくだです。

ウェブコバルトで投稿企画「IT 社長イケガミコフの脚本賞」という賞がスタートしました。

詳細は公式サイトをご覧ください。

【IT 社長イケガミコフの脚本賞】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/ikegamikohu_scenario/

- ・ 募集内容 「告白」をテーマにしたミニドラマの脚本
- ・ 規定枚数 400 字詰め原稿用紙換算で 3~5 枚
- ・ 入賞特典 5,000 円分の図書カード
- ・ 応募締切 2018 年 5 月 6 日（日）

タイトルを見て IT 関係の賞かと思いましたが、募集するのは「告白」がテーマの脚本で、作品ジャンルや告白の内容については不問です。

ということは恋愛以外でも書けそうですね。

罪や秘密の告白など世の中には色々な告白がありますし。

ただし規定枚数がやや少なめなので、その中でどう展開してどうオチをつけるのか、作者の力量が問われそうな感じです。

それにしても、コバルトの投稿企画は外部とのコラボも多く、前には平野レミさんの食べ物小説コンテストもありました。

それ以外にも斬新な企画が多いですし、今後どんなコンテストが登場するのか、引き続き様子を見守りたいと思います。

こんにちは、らくだです。

第 193 回コバルト短編小説新人賞の発表がありました。

以下リンク。

入選者の方はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/newface-award/no193/>

結果をチェックしましたが、今回自分が気になったのは、最終候補の「私の家には花瓶がない」に対する選評です。

作者はコバルトの常連さんで、

- ・以前「このキャラクターを使いま賞」でも受賞している
- ・その時の作品も良かったし文章がとても読みやすい
- ・すぐにコツを掴んで次作に反映していけるだろう

という常連さんならではの評価が選評に書かれています。

こんな風に編集さんに存在を覚えてもらえたら、やっぱり投稿する側としては嬉しいし、モチベーションが上がるんじゃないでしょうか。

あとコバ短に関しては「もう一步の作品リスト」も個人的に好きです。

毎回同じ名前を見かけると、「あの人いつも頑張ってるな」と思えるし、直接の知り合いじゃなくても創作の励みになりますからね。

自分は残念ながらどこの常連でもないですが、こうして小説投稿ブログを書き続けることで、他の投稿者さんを間接的に応援できればいいなと思います。

こんにちは、らくだです。

コバルト短編小説新人賞の 2017 年度（2017 年 6 月～2018 年 4 月）年間最優秀賞が発表されました。

以下リンク。

受賞者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/newface-award-2017/>

最優秀賞を受賞した 2 作品に加え、最終選考に残った 5 作品が、上のページに掲載されています。

なお選評も公開されました。

各作品の魅力や改善点が会話形式で紹介されています。

何度も言いますがコバルト短編の選評は複数視点なのがいいですよ。

【選評】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/newface-award-2017-comment/>

それからコバルトといえば、2018 年ノベル大賞の 1 次発表が、そろそろ近付いてきました。

去年は確か 4 月 14 日でしたが、金曜日に更新される場合が多いので、今年は 4 月 13 日が有力かなと。

あっさり 1 次落ちした前回と違って、今年はそもそも不参加なので気楽ですが、サイトが更新されたら紹介したいと思います。

こんにちは、らくだです。

今回は便利なサイトをご紹介します。

ヨーロッパ系を中心とした人名のデータベースです。

【欧羅巴人名録】

<http://www.worldsys.org/europe/>

管理人さんが趣味で収集したデータということですが、とにかく情報量がすごいので、投稿者の間では結構有名なサイトになっているとか。

ちなみに「小説やゲームのキャラクターなど個別の命名における利用は問題ありません」と書いてある太っ腹なサイトです。

あと自分が面白いと感じたのはロシアの人名。

特に「男性と女性で姓が変化する」という豆知識は役に立ちそう。

【ロシアの人名について】

<http://www.worldsys.org/europe/tips-russian-names/>

<男性形 / 女性形>

～スキー / ～スカヤ

～コフ / ～コワ

～キン / ～キナ

まあ創作の場合、女性に「～スキー」という名前を付けたとしても、「これはロシアじゃなくて異世界だから！」と言い張ればいいんですが。

何はともあれ、膨大な名前のリストは見ているだけでも楽しいので、皆様も小説キャラの名前を考える際に参照してみてもはいかがでしょうか。

こんにちは、らくだです。

ウェブコバルトのひめくり企画ですが、今年度は「厨二のための漢字ドリル」がテーマで、4月1日から毎日更新されています。

投稿の企画ではないですが、面白いのでリンクを紹介。

【厨二のための漢字ドリル】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/himekuri-2018/>

穴埋め形式で漢字を書き込むという企画で、要は確かに「漢字ドリル」なのですが、登場する文章がいちいち厨二で笑えるという。

<出てきた単語例>

- ・ 静謐（せいひつ）
- ・ 蹂躪（じゅうりん）
- ・ 贖罪（しょくざい）
- ・ 脆弱（ぜいじゃく）
- ・ 慟哭（どうこく）

こんなん書けねえよ！

ていうか書けても日常生活で使わねえから！

という感じでツッコミどころ満載です。

あとモノクロのイラストも味わいがあります。

それにしても、まだ4月上旬なのにこれだけ厨二単語が出揃って、これから1年間ネタが続くんではないかかね……。

そんな厨二漢字ドリルですが、毎日チェックすれば語彙力もアップするので、静かに更新を見守りたいです。

本日は電撃大賞の締切です。
作品を投稿された皆様はお疲れ様でした。

自分は残念ながら不参加ですが、電撃は多くの投稿仲間が参加しているので、1次発表を楽しみに待ちたいです。

それにしても、ウェブ応募が始まった影響なのか、最近は24時ギリギリまで作業する人が増えましたよね。

できれば時間に余裕をもって作業するのが一番理想ですが、締切直前のワイワイ感も、それはそれで楽しいものだとツイッターを見て感じました。

ところでツイッターといえば……。

【電撃文庫@カクヨム】

https://twitter.com/dengeki_kakuyom

こんなアカウントが誕生しました。
文字通り電撃文庫のカクヨム用アカウントです。

今は作品の公開情報が中心ですが、近々コンテストの開催が決定しているので、それ関連の告知もここから流れてきそうな予感。

もちろん公式サイトでも紹介されると思いますが、創作用のツイアカをお持ちの方は、この機会にフォローしてみてもいかがでしょうか。

というわけで。
今回の記事は「電撃お疲れ様！」の話題でした。

上に書いた通り1次も楽しみですが、まずは応募数の発表を待ちたいです。

こんにちは、らくだです。

えんため大賞の女性向け部門ですが、今回から「ビーズログ小説大賞」となり、大幅なリニューアルが実施されます。

締切は4月30日（月）。

投稿予定の皆様は追い込み頑張ってください。

【ビーズログ小説大賞】

http://bslogbunko.com/bslog_award/index.html

リニューアルによる一番の変化は、部門が2つに分かれたことです。

応募要項に詳しい説明がありますが、簡単に書くとこんな感じでしょうか。

<ファンタジー部門>

- ・ 現代→異世界トリップ
- ・ 登場人物が異世界で活躍する話

<現代部門>

- ・ 異世界→現代トリップ
- ・ 異世界の登場人物が現代で活躍する話
- ・ もしくはファンタジー要素のない現代舞台の物語

重要なのは「舞台がどっちなのか」みたいです。

ただし「悩んだ場合どちらの部門でも受け付けます」とあるので、2つの部門はあくまで便宜上の分類で、部門違いだけを理由に問答無用で落選する心配はなさそうですね。

以上、ビーズログ小説大賞の紹介でした。

こんにちは、らくだです。

カクヨムで新コンテスト「カクヨムプライベートコンテスト Vol.01～カクヨム編集長篇～」が開催される模様です。

詳しい応募要項はコチラ。

【カクヨムプライベートコンテスト Vol.01】

<https://kakuyomu.jp/info/entry/2018/04/12/120529>

- ・開催期間 2018年4月26日(木)～5月6日(日)
- ・募集内容 20,000字までの短編小説 or エッセイ
- ・応募規定 2018年1月1日以降に投稿された作品が対象
- ・入選賞品 編集長が自腹で贈呈する珠玉の小説5冊セット
- ・応募部門 下記2部門

<もふもふ部門>

もふもふが出てくればどんなジャンルでもどんと来いです。もふもふの種類も問いません。

<民俗学部門>

できれば小説が望ましいですが、ノンフィクションも美味しくいただけます。

……という短編のコンテストです。

なお今回は「もふもふ」「民俗学」の募集なので、ジャンルの的に少し難しい部分もありますが、これからも開催予定と書いてあるので今後出てくるテーマに期待ですね。

以上、カクヨムプライベートコンテスト Vol.01 の紹介でした。

こんにちは、らくだです。

カクヨムで新コンテスト「ドラゴンブック新世代ファンタジー小説コンテスト」が開催決定したようです。

ドラゴンブックが新たな単行本小説レーベルを創設するらしく、そのレーベルから出版するファンタジー小説を募集する模様。

【応募要項】

https://kakuyomu.jp/contests/dragonbook_contest

- ・開催期間 2018年5月31日(木)～2018年7月31日(火)
- ・規定字数 締切時点で本文が10万字以上あること
- ・選考方法 読者選考&編集部ピックアップ
- ・募集内容 下記いずれかの条件を満たすファンタジー小説

<条件>

- 1 魅力的なワールド、魅力的なキャラクターを備えている小説
- 2 大人が興味を持つテーマを取り扱った小説
- 3 現代社会の要素をファンタジー世界に反映した小説

ファンタジーは昔から人気ジャンルですが、最近は武器や魔法を使って敵を倒すだけでなく、経営やグルメなど戦い以外の要素を含んだ作品が多くなりました。

2や3はまさにそんな感じですよ。

最近の流行を反映しての条件だと思います。

というわけで、カクヨムでファンタジー小説を書かれている皆様は、この機会にチャレンジしてみたいかがでしょうか。

こんにちは、らくだです。

ウェブコバルトの「小説を書くためのプチアドバイス」が更新されました。

第12回は「読者に『このセリフ、だれがしゃべってるの?』と思わせないための戦法は?」というテーマ。

発言者がわかるように書くのは基本中の基本ですが、この機会に改めて確認しておくといいかと思います。

【小説を書くためのプチアドバイス】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/column-miura-shiwon/002134/>

<紹介されている解決策>

- ・「と〇〇は言った。戦法」
- ・「宝塚戦法」
- ・「一人称戦法」
- ・「異なる口調戦法」

2つめの「宝塚戦法」は、

「待ってくれ、アンドレ！」

「どうした、オスカル」

のように相手を呼ぶ戦法らしいです。

多人数の会話が続く時なんかには便利ですね。

それから「～と〇〇は言った。戦法」は、「～と溜め息をついた」「～と愚痴をこぼした」などなど、動詞でバリエーションをつけることもできそうな感じ。

とにかく面白い小説を書いても、読者に伝わらなければ台無しなので、誰が読んでも発言者がわかるように気を付けたいところです。

こんにちは、らくだです。

3月31日からサイバーセキュリティ小説コンテストが開催中。
締切は8月31日という受付期間の非常に長いコンテストです。

以前もブログで紹介しましたが、改めて応募要項のリンクを掲載。

【サイバーセキュリティ小説コンテスト】

https://kakuyomu.jp/contests/cyber_security

そしてなんと。

コンテスト参加者へ向けた説明会が実施される模様。

カクヨム会員なら誰でも参加できるようです。

しかも無料なので都合のつく方は検討してみてもいいかもしれません。

【サイバーセキュリティ小説コンテスト説明会】

<https://kakuyomu.jp/info/entry/2018/04/16/120339>

- ・開催日時 2018年5月13日（日）13:30～16:50
- ・開催場所 エッサム本社ビル（東京都千代田区神田須田町1-26-3）
- ・参加条件 コンテストへ応募を検討中のカクヨム会員なら誰でも参加可能
- ・参加費用 無料
- ・参加定員 80名

参加申込のリンクから現在の空席数を確認できますが、今回は抽選ではなく先着順なので、迷っている方は早めに申し込んだ方が良さそうですね。

以上、サイバーセキュリティ小説コンテスト説明会の紹介でした。

オーバーラップ 1 次発表 - 2018.04.16 Mon

こんにちは、らくだです。

今週からブログの編集画面が大幅に変わって困惑中です……。
慣れない状況で書いているので不備があったら教えてください……。

さてさて。

第 5 回オーバーラップ大賞（第 2 ターン）の 1 次発表がありました。

以下リンク。

通過された皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<https://over-lap.co.jp/bunko/award/2017/announcement.aspx>

- ・ 応募総数 196 本
- ・ 1 次通過 30 本
- ・ 通過率 15 %

（募集期間 2017 年 9 月 1 日～2018 年 2 月 28 日）

オーバーラップは今回から 2 ターン制に戻りました。
つまり応募総数 196 本というのは半年間での数字です。

ただ同じ半年の募集でも、直近の第 1 ターンは 345 本だったので、かなり減ってしまった感じですね……。

とはいえ応募数が減っても通過がラクになるわけではないですし、2 次選考以降の発表も期待しながらチェックしたいと思います。

以上、オーバーラップ 1 次発表の話題でした。

こんにちは、らくだです。

第7回講談社ラノベチャレンジカップの講評がアップされました。

最終結果は1か月前に発表済ですが、「講評を読むまでが投稿です」ということで、リンクアドレスを掲載しておきます。

【ラノチャレ講評】

<http://lanove.kodansha.co.jp/award/challengecup/7/review/>

今回気になった文章は以下。

そのままコピーして掲載します。

『受賞した作品の場合は、数多くの発売されている、これからされる無数の作品とおなじ土俵で戦うのですから、その作品たちに勝つのだ、という気合と緊張感を持って創作に取り組んでもらえたらと思います』

確かにそうなんですよねえ……。

有名作品と自分の作品を比べると、

「いやこっちは投稿者だから！」

「そんな名作に勝てるわけないから！」

なんて思っちゃいますが、いざ受賞して商業デビューした場合、その有名作品と自分の作品と一緒に本屋に並ぶわけですからね。

逆に言うと、それらの名作と戦えるレベルじゃないと、受賞は難しいという意味かもしれません。

なお講評には最近の傾向なども書いてあるので、講談社にチャレンジ中の皆様はもちろん、そうでない方も是非チェックしてみてください。

こんにちは、らくだです。

今年3月にカクヨムのイメージキャラクターの公式プロフィールを募集するコンテストが開催されました。

その結果が発表されたのでリンクを掲載。

応募総数 292 作品から大賞 1 作品、優秀賞 8 作品が選出された模様です。

[【2周年記念企画「新キャラクター、プロフィールコンテスト」結果発表】](#)

キャラ A はなんと少年設定です。

絵を見た時はてっきり元気娘かと思いました。

そしてキャラ B。

清楚系美少女かと思いきや「作者を応援する AI」という設定になった模様です。

なお彼女の口癖は、

「作者様！ 良く書いてますね！ 下手なりに！」

ちょっと待て！

それって応援じゃないだろ！

そんなん言われたらリアルに胸がえぐれるわ！

それにしても、設定を見ただけで話が色々浮かんできたので、プロフィールって大事だなと改めて感じました。

あと今回設定が決まった2人のキャラは、これからカクヨムの公式キャラとして登場するようなので、今後の活躍を楽しみにしたいと思います。

以上、カクヨム新キャラプロフィールコンテストの話題でした。

こんにちは、らくだです。

第31回ファンタジア大賞（後期）の1次発表がありました。

以下リンク。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<https://www.fantasiaataisho.com/contest/fantasia31th.php>

- ・応募総数 509本
- ・1次通過 105本
- ・通過率 約21%

題名が気になったのは『ドラゴン肛門』という作品でしょうか。

どんな内容か想像できませんが痔の経験者としては見過ごせません。

それにしても、以前は複数通過すればそれだけで目立ったのに、最近はそういう状況が当たり前になってきた感じもしますよね。

2作以上投稿するだけでも大変なのに、さらにその作品が通過するというのは、最近活動できていない自分には羨ましい限り。

とにかく複数通過が珍しくない現在の投稿界は、昔と比べて、投稿者のレベルが上がっているのかなと思います。

話が少しそれましたが、2次発表は5月下旬だとか。

富士見はメンテの告知があるので、発表日が事前にわかる親切な賞ですが、情報が更新されたらまた紹介したいです。

ノベル大賞の発表日確定 - 2018.04.20 Fri

「ノベル大賞の1次発表は4月13日（金）だと思う！」

⇒更新なし

「じゃ、じゃあ4月20日（金）だよね!？」

⇒更新なし

という感じで予想を外し続けている常木らくだです。
去年のデータまで調べて書いたのにお恥ずかしい限りです。

いやでも！

次の予想は外しませんよ！

1次発表は4月27日（金）に確定です。
何故なら下記サイトに告知があるから。

【コバルト編集部ブログ】

<https://ameblo.jp/cobalt-shueisha/entry-12369823193.html>

4月20日にUPされた記事ですが、下の方に来週の更新内容が載っていて、そこに1次発表は4月27日だと書いてありました。

まあ4月発表で金曜更新となれば、もう27日しか可能性はないわけですが、こうして告知が出るとやはり安心できますよね。

なおこの件のように、公式サイトに未掲載の情報がブログに載っているケースがあるので、コバルトの投稿者さんはブログもチェック（特に金曜日）しておくといいかもしれません。

以上、ノベル大賞の発表日確定の話題でした。

こんにちは、らくだです。

HJ ネット小説大賞が今年も開催されるようです。
詳しい応募方法などは公式サイトをご確認ください。

【HJ ネット小説大賞 2018】

<http://hobbyjapan.co.jp/hjbunko/novelawards/netaward02.html>

- ・ 応募締切 2018年6月30日（土）
- ・ 規定字数 10万字以上（完結・未完問わず）
- ・ 選考過程 1次選考⇒2次選考⇒最終選考
- ・ 参加方法 小説家になろうへ作品を投稿しキーワードを設定
- ・ 大賞特典 賞金50万円&HJで書籍化確約&3巻まで続刊確約

この賞の珍しい点は3巻まで続刊確約という部分。
自分の作品をシリーズ化したい作者にとっては嬉しいですね。

それからもう1つ、

「他の公募企画・コンテストとの重複応募も可能です」

「ただし応募時点から当社の出版優先権を主張することを認めていただき、大賞にて受賞が決定した際は、応募中の他の公募企画・コンテストからはご辞退いただけるよう、お願いいたします」

と書いてありますが、これも珍しい規定かと。

新人賞では基本的に禁止のケースが大半ですが、重複応募OKという姿勢は、ネット小説の賞ならではの感じがします。

以上、HJ ネット小説大賞の紹介でした。

こんにちは、らくだです。

第 14 回 MF 文庫 J 新人賞（12 月締切分）の結果発表がありました。

以下リンク。

受賞者の方はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://www.mediafactory.co.jp/bunkoj/award/result/#third>

- ・ 応募総数 532 本
- ・ 1 次通過 167 本（約 31 %）
- ・ 2 次通過 27 本（約 5 %）
- ・ 3 次通過 2 本（約 0.4 %）
- ・ 佳作 1 本（約 0.2 %）

受賞作の詳しい内容はわかりませんが、クロスレビューを読んだ感じ、「日常系のラブコメかな？」という印象。

【クロスレビュー】

http://www.mediafactory.co.jp/bunkoj/award/result/images/MFJ_crossreview_14-3.jpg

最近では異世界ファンタジーが多いですが、そればかりでも飽きますし、日常系の受賞作はもっと増えて欲しいです。

まあ本当は、「増えて欲しい」とかいう他力本願じゃなく、自分で書いて自分で受賞できればいいんですけど……（遠い目）

以上、MF のクロスレビューの紹介でした。

突然だけどフードプロセッサーを買ってみた。



パナソニックの MK-K81-W という機種です。
3 ランクある中で一番高い製品にしてみました。

説明書によると可能な作業は、
「刻む」「する」「混ぜる」「おろす」「こねる」「スライス」「せん切り」

つまり料理の手順ほとんど全部。
怠け者の自分にとって救世主のような機械です。

というわけで。
まずは玉ねぎのみじん切りに挑戦。

「材料を投入」⇒「スイッチオン」⇒「みじん切り完成（約 5 秒）」

いやちょ、5 秒って！？
自分で切ったら 10 分以上かかるよ！？

しかもクオリティも高く理想的なみじん切り。
あまりにも感動して写真を撮り忘れたくらいです。

フードプロセッサー万歳！！！！

しかしその後キュウリのスライスに挑戦したら、薄すぎて上手く切れず、容器やカッターを洗う手間の方が大変でした（泣）

まあキュウリは包丁で切っても簡単ですからね。
とりあえず玉ねぎのみじん切りは文句なしのレベル。

え？
創作とまったく関係ない話題だって？

いやほら、主婦の投稿者さんならば、これで短縮した時間を創作にあてることができますし……（無理やり）

そんなわけでフードプロセッサー万歳の話でした。
次回みじん切りをした際は写真を撮って紹介したいと思います。

こんにちは、らくだです。

カクヨムに掲載中の作品を非公開にしたい際、これまでは各エピソードを個別に選択し、手動で非公開に設定する操作が必要でした。

その仕様が見直され一括操作が可能になった模様。
詳細については公式ブログの該当記事をご覧ください。

[【作品に含まれる全てのエピソードを一括で非公開にできるようにしました】](#)

これ……。
自分も苦勞した経験が……。

激烈ワナビ戦をえんため大賞に投稿した時、選考期間はネット掲載禁止なので、一時的に非公開にする必要がありました。

しかし当時は一括で変更する手段がなく、32 個のエピソードを手動で非公開に設定し直す作業が必要で、ものすごい手間だった記憶があります。

ん、えんための結果はどうだったか？
もちろん落ちましたが何か問題でも？

いずれにせよ、公募はネット掲載禁止の場合が今でも多いので、公開⇒非公開を一括操作できると助かりますよね。

今回の仕様変更はユーザーの要望で実現したようですが、「カクヨムに意見を送ってくれた人ナイス！」と思います。

以上、非公開の一括操作に関する話題でした。

こんにちは、らくだです。

えんため大賞に新部門「e ロマン스로イヤル大賞」という賞ができました。

こちらの賞ですが、ムーンライトノベルズで開催されていた、「次世代官能小説大賞」が大幅リニューアルして登場した模様。

(※ムーンライトノベルズ……小説家になろうの女性向け R18 サイト)

詳しい応募要項はこちらです。

【e ロマン스로イヤル大賞】

<http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/eromanceroyal.html>

- ・ 募集内容 女性向けで大人の恋愛・官能シーンを含んだファンタジー作品
- ・ 応募締切 2018年6月15日(金)
- ・ 投稿資格 18歳以上(高校生は不可)
- ・ 規定字数 連載中の作品は4万字以上、完結作品は10万字以上
- ・ 参加方法 ムーンライトノベルズに作品を投稿し該当キーワードを設定

その他にも下記の条件が。

守らないと規定違反になるので注意しましょう。

<応募条件>

- ・ 舞台は必ずファンタジーであること
- ・ 女性(ヒロイン)と男性(ヒーロー)の恋愛であること(BL不可)
- ・ 性的シーンのあるキャラが18歳以上であること(18歳以上でも高校生は×)
- ・ 過去に「次世代官能小説大賞」へ応募した作品は受賞の有無に関わらず不可

官能と聞くと敷居が高いですが、「ピーチ賞(過度な性的シーンを含まない恋愛ドラマ作品に送る賞)」もあるので、女性向けの恋愛小説を書かれる皆様は参加を検討してみてもはいかがでしょうか。

もうすぐGWだな～。

スニーカーの締切の話題でも書こうかな～。

と思ったらスニーカーの締切は5月1日⇒4月1日に変更されたじゃないですか！

(忘れてた・汗)

そんなわけで。

今は締切直後のスニーカー大賞ですが、早くも次回の募集が始まって、カクヨムブログにも告知が出ています。

[【チャンスは年1回！「第25回スニーカー大賞」にカクヨムからも作品を応募できます】](#)

現在の応募方法は、カクヨム応募、またはウェブ応募。

より便利なのはタグ設定で参加できるカクヨム応募だと思います。

ただしカクヨム応募だと選評はありません。

ウェブ応募だと3次選考以上通過で選評がもらえます。

あまり強調されていないので知らない人もいそうですね。

選評については応募要項の注意事項の9番目に書いてあります。

[【第25回スニーカー大賞・応募要項】](#)

選評は投稿者にとって大きな魅力なのだし、もっと強調したらいいのになぁーと思うんですが、とにかく選評が欲しい場合は絶対にウェブ応募しましょう。

以上、スニーカーの選評はウェブ応募限定！という話題でした。

こんにちは、らくだです。

予告通りノベル大賞の1次発表がありました。

以下リンク。

通過者の皆様はおめでとうございます。

【発表ページ】

<http://orangebunko.shueisha.co.jp/novel-award/result>

今回1次通過した作品は429本！

応募総数は今のところ不明ですが、参考までに記載しておく、前回のデータはこんな感じでした。

- ・ 応募総数 853 本
- ・ 1次通過 274 本 (約 32%)
- ・ 2次通過 125 本 (約 15%)
- ・ 3次通過 37 本 (約 4%)
- ・ 4次通過 9 本 (約 1%)
- ・ 最終選考 5 本 (約 0.5%)
- ・ 受賞 3 本 (約 0.3%)

今回も約 32% が通過したと仮定すると、ざっと見積もって、応募数は 1,340 本だった計算になります。

まあその数字は推測ですが。

とにかく大幅に増えたことは間違いなさそうな感じですね。

なお2次発表は5月なので情報が更新されたらまた紹介したいと思います。

こんにちは、らくだです。

前にフードプロセッサーを買った話をしましたが、どれだけ便利か伝えるために、たまねぎのみじん切りの写真を撮ってみました。

まずは下準備。

たまねぎを適当に切って投入します。



フタをしてスイッチオン！

約 5 秒で完成します。

面倒な手順は一切なし。



白くて見えにくいですね……。

黒の背景で撮ればよかった……。

とにかく便利だということは伝わったでしょうか。

料理が苦手な人はもちろんですが、フードプロセッサーは、料理好きな人にこそオススメです。

切る時間を大幅に節約できる分、他の作業に時間をかけたり、もう一品作ったりできますからね。

というわけで。

フードプロセッサーを宣伝する記事でした。

調べたところによると、チョコを刻むのにも使えるようなので、お菓子作りの際にも活用しようと思います。

こんにちは、らくだです。

えんため大賞の新設部門「Gz ブレインゲーム小説コンテスト部門」の選評が公開されました。

結果自体は1か月ほど前に出てますが、おさらい(?)の意味もこめて、応募数などを改めて掲載しておきます。

【発表ページ】

<http://www.enterbrain.co.jp/entertainment/awards/20gn.html>

- ・ 応募総数 251 本
- ・ 1次通過 27 本 (約 11 %)
- ・ 最終候補 8 本 (約 3 %)
- ・ 受賞作品 6 本 (約 2 %)

さっそく選評を見てきましたが、さすがにゲーム小説のコンテストだけあって、評価のポイントは「ゲーム愛を感じるかどうか」だった模様です。

ゲームっていいですね。

何度も言いますが自分はゲーム大好きです。

小説は基本的に読むことしかできませんが、ゲームは自分の行動で結果が変わるので、その世界にどっぷり浸れて楽しいというか。

(もちろん小説も好きですよ!)

ちなみにこの賞は新設の部門なので、次回の募集があるかどうか現段階では不明ですが、個人的には是非とも続いて欲しいです。

以上、ゲーム小説コンテストの選評公開の話題でした。

こんにちは、らくだです。

小説家になろうの短編コンテスト「文学フリマ短編小説賞 2018」が今年もまた開催されるようです。

特設サイトは5月21日にオープン予定。

現在はそれに先駆けてなろうブログで概要が発表されています。

【文学フリマ短編小説賞 2018】

<https://blog.syosetu.com/?itemid=3422>

- ・ 募集内容 オリジナルの短編小説
- ・ 開催期間 2018年5月21日～6月11日
- ・ 規定字数 40,000字以下（話数は自由）
- ・ 応募条件 応募期間内に新規投稿された作品（既存作品不可）
- ・ 選考方法 開催期間内の「ポイント評価」と「アクセス数」を元に評価

大賞を受賞した作品については、イメージイラストが用意されて、文学フリマで販売する冊子へ収録されるとか。

ちなみにこのコンテスト、今回で3回目ですが、過去2回の応募数は以下。

- ・ 第1回 1,293作品
- ・ 第2回 774作品

短編で参加しやすいという理由もありそうですが、かなりの応募数ですし、今回もきっと盛り上がるのではないのでしょうか。

なお上に書いた通り、特設サイトは5月21日オープンなので、その時になったらまた紹介したいと思います。